

# 内視鏡的胃粘膜下層剥離術(胃ESD)

ID @PATIENTID

患者名 @PATIENTNAME

患者様用クリニカルパス

年 月 日

本人・家族

月/日	/		/		/	
経過	入院日治療前	治療後	治療1日目	治療2~7日目	退院日	
達成目標	◇安全に治療を受けることができる	◇腹痛や出血がない ◇安静を守ることができる	◇腹痛や出血がない ◇食事制限が守れる	◇腹痛や出血がない ◇食事制限が守れる	◇退院後の生活に不安がない	
観察	体温・血圧・脈などを測定します。腹痛、排便の状態状態を観察します					
活動・安静度	自由です	ベッド上安静となります	動ける範囲をお知らせします 基本的には朝の状態が落ち着いていればトイレ、洗面の歩行可能です	病棟内自由です 	散歩など軽い運動は可能です 疲れな程度にしましょう 重い荷物を持ちたり、激しい運動(ジョギング水泳など)は控えてください。 出張や旅行などの遠出は控えてください	
食事	朝から絶食です 薬の内服のための少量の水分飲めます	水分は( : )より可能です 	絶食です	食事は医師の指示で始まります 流動食から始まり、症状をみながお粥に変わっていきます。 食事開始時に看護師からパンフレットに沿って説明します。	なるべく消化の良いものを良く噛んで食べるようにしましょう 食事に不安がある場合は栄養士より、食事指導を受けて頂きます	
清潔			体を拭きます		入浴は可能ですが長湯は避けましょう	
排泄	治療前に医師の指示があれば尿の管を入れます		尿の管が入っていれば尿の管をぬきます 指定の紙に尿量記入してください	指定の紙に尿量記入してください		
治療・処置	入院後点滴をさせていただきます  内視鏡室で治療を行います ベッドで移動します	点滴を続けてします 			【退院後の生活について】 決められた外来受診日に受診して下さい。 治療した部分の潰瘍は順調に治っています しかし完全に治るまでには約2か月ほどかかります。心身の安静を心がけ、十分な睡眠をとり、規則正しい生活を送りましょう。 酒、タバコは治癒を遅らせる原因になりますので、この機会にやめることをお勧めします。	
薬剤	常備薬を教えてください 内服は医師の指示にしたがってください	胃粘膜保護剤を内服します		薬について薬剤師から説明があります		
検査			医師の指示により適宜採血・胃カメラがあります。			
患者様及びご家族様への説明	入れ歯や指輪・時計などの貴金属類ははずして下さい 検査前に緑の検査衣に更衣してもらいます 治療中は御家族に待機してもらって下さい	治療結果について医師より説明があります	胃痛、吐血、下血、腹痛、気分不快などあれば、看護師にすぐお伝えください 排便時は便の色を観察してください 便が黒い時、赤い時は流さずに看護師にお知らせください 		吐血、下血や黒い便、めまい・ふらつき(貧血のような症状)、急激な腹痛、などの症状があったら病院に連絡し、受診してください	

2017.5.20

市立四日市病院 消化器内科病棟